

平成 29 年 8 月 30 日
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

目指す体型から見えた、若者が考える「男らしさ」は 女性にモテることよりも自己満足が大切

- 男性の理想の体型に関する自主調査 / R&D U26 コミュニティより -

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント（所在地：東京都新宿区、代表取締役：松田 武久）は、「LINE Research Platform」を活用したスマートフォンリサーチで、10代から50代男性を対象に「理想の体型」に関する調査を実施しました。

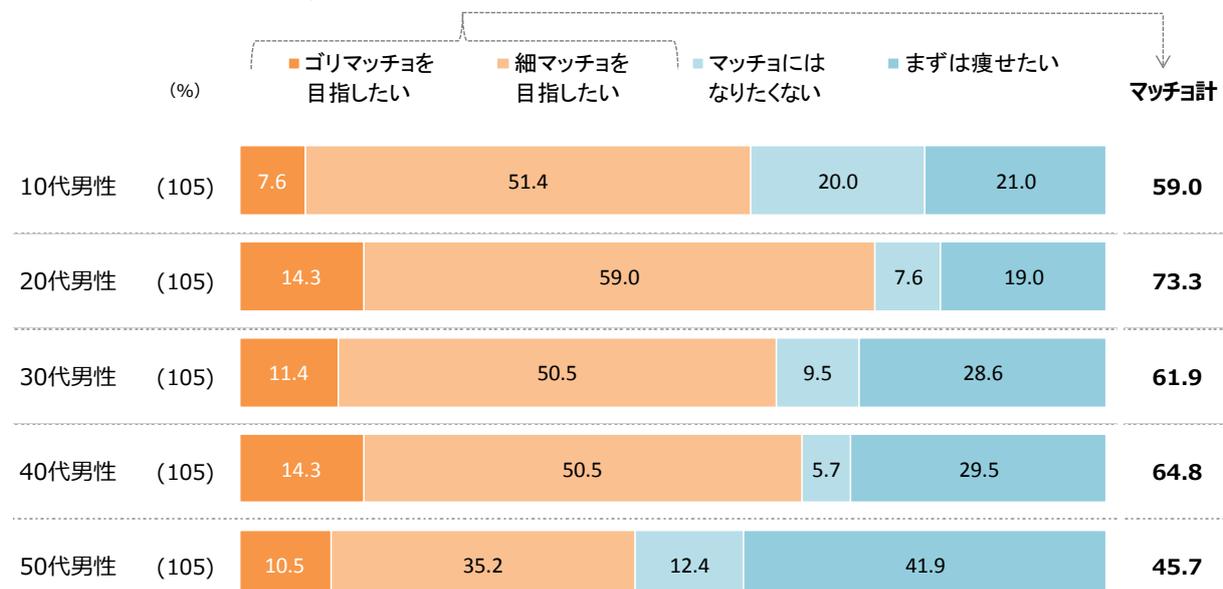
弊社で運営している U26 コミュニティのオフ会において、「ジムに通って体を鍛えている」という発言があり、その理由として「スーツをカッコよく着こなしたい」「顔が大きいのが悩みで、首肩周りを鍛えて顔を小さく見せたい」があげられました。

そこで、若年層を中心に性差意識が薄れていると言われていた昨今において、「理想の体型」についてどう考えているのか、どういった理由からその体型を目指したいと思っているのか、男性を年代別に聴取いたしました。

“40代までは「細マッチョ」が理想、50代からは「まずは痩せたい”

- 40代までは「細マッチョを目指したい」が約半数を占める。20代男性では6割近い。
- 20代から30代にかけて「まずは痩せたい」が約10ポイントアップ。
- どの年代も「ゴリマッチョを目指したい」は1割前後存在する。10代は「マッチョにはなりたくない」割合が20%と、他の年代よりも高い割合となっている。

（図1）自分が目指したい体型

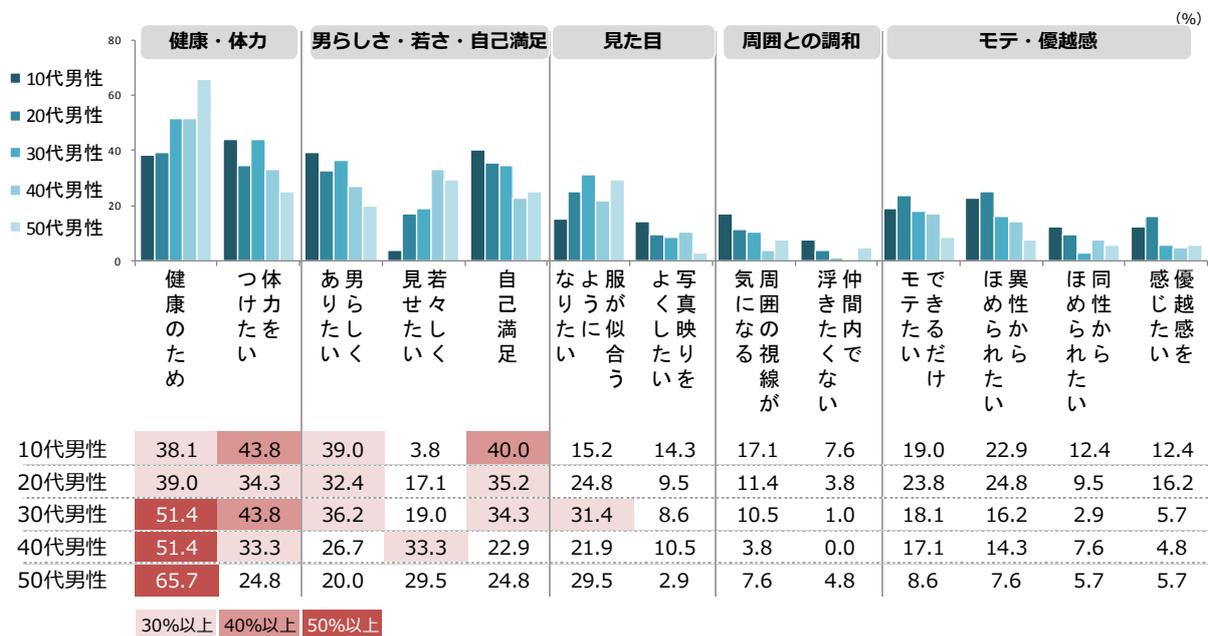


※R&D「理想の体型についての自主調査（2017.7）」
「LINE Research Platform」を活用したスマートフォンリサーチ

“理想の体型を目指す理由は、「モテたい」よりも「健康」「体力」「自己満足」”

- 20代男性は、他の年代よりも「モテたい」「異性からほめられたい」がやや高めではあるが、それよりも「健康のため」「体力をつけたい」「自己満足」の方が10ポイント前後上回っている。
- 30代までは「男らしくありたい」が3割以上あり、40代・50代よりも高い傾向。
- 「健康のため」は、30代・40代では5割、50代は6割を超えており、他理由を大きく引き離している。

(図2) 理想の体型を目指したい理由



※R&D「理想の体型についての自主調査（2017.7）」
「LINE Research Platform」を活用したスマートフォンサーチ

R&D 生活者インサイト

◇U26 平成男子にとっての「男らしさ」とは

U26 平成男子コミュニティで「男らしさ」についての会話です。「男らしさっていうと“筋肉”」(26歳社会人)、「ライオンみたいなワイルドなやつ」(22歳大学生)といったように筋肉隆々とした身体のイメージは昭和の時代と変わらないようです。そして平成男子もみな男らしさを心がけているようです。しかし目指す男らしさとは、「小栗旬さんは男らしいかなと思います。結構男らしさもあつつつ、少し女性ウケするところもあるので。でも、伊藤英明さんまで行くと男らしさ全開になってしまっていて、自分が目指すかって言うと、多分違うと思います。」(22歳大学生)というコメントがあり、イメージする男らしさと目指す男らしさにはギャップがあるようです。

「男らしいって思われたい。後輩に尊敬されたい。先輩みたいになりたいですとか言われたい。」(22歳大学生)、「すぐに決められないとかではなく、くよくよしないで、はっきりしている人になりたいな。」(26歳社会人)といったように行動力や判断力の強さも大切なようです。つまり外見だけでなく内面も大切と考えています。

◇U26 平成男子の理想は「細マッチョ」

「見た目は細いのに脱いたら腹がポコンと出ているのがっかりします。」(20 歳大学生)、「腹の縦の筋がなくなったら太っている。」(24 歳社会人)、「だらしない体型でなければいいです。中年のおじさんみたいな管理のできていない体型にはなりたくないです。」(22 歳大学生)といったようにお腹が出ているおじさんになりたくはないようです。つまり昭和世代のおじさんを見て、ああはなりたくないと思われるのかも知れません。調査データからも“40 代までは「細マッチョ」が理想、50 代の 4 割以上が「まずは痩せたい」と回答しているように昭和世代のおじさんたちも若者に見られていることを自覚しているのではないのでしょうか。

最後にこのようなコメントもありました。「男らしいか男らしくないかどっちが良いかという話ではなく、その時の時代の流れとか、自分のポジションとかではないですか」(26 歳社会人)。昭和の時代は“男はこうあれ”というようなロールモデルが存在しました。その名残が「男らしさ＝筋肉隆々」かも知れません。

しかし平成になり様々な価値観が認められるようになりました。10 代男性において「マッチョにはなりたくない」が 2 割存在するなど、今後は過去のロールモデルが薄まっていく可能性がうかがえます。そうした中でも今の若年層の心をつかむ「らしさ」の要素とは何か、探っていく必要があるのではないのでしょうか。

■男性の理想の体型に関する自主調査 概要■

調査手法： 「LINE Research Platform」を活用したスマートフォンリサーチ
調査対象： 全国 10 代～50 代男性(「LINE アンケート」モニター)
有効回答数： 525 名(各年代 105 名)
調査時期： 2017 年 7 月 28 日(金)

■U26 平成男子コミュニティ 調査概要■

調査対象： 首都圏在住の平成生まれの 20～26 歳男性
サンプル数： 14 名
調査手法： 毎月 1 回の座談会／SNS での定期的なコミュニケーション
調査時期： 2014 年 1 月～

※「Under-26 Community」は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-20-2
代表者： 代表取締役社長 松田 武久
資本金： 30,000 千円
設立： 1968 年 1 月 17 日
URL： <https://www.rad.co.jp>
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

〈引用・転載時のクレジット表記のお願い〉

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

■お問い合わせ先■

●本分析担当：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント マーケティングソリューション部（堀／水野）

●本資料に関するお問い合わせ：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部（小林）
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp